

# 中国四国教育学会「課題研究」(2025-2026 年度分) 募集要項

令和 7 年 1 月

## 趣旨

中国四国教育学会の目的は、「教育学の発展普及を期し、会員相互の研究上の連絡を図る」こと(会則第2条)にあり、その事業として、(1) 会員相互の研究の促進・連絡および共同研究、(2) 年度大会およびその他の研究集会の開催、(3) 学会機関誌「教育学研究ジャーナル」の発行、(4) 研究発表論文集「教育学研究紀要」の発行、(5) その他の事業、の5つを行うことになっている。

当学会の会員数は中国四国地方を中心に700名を超え、学会大会の部会数・参加者数、学術雑誌の種類とボリュームにおいて、地域的な学会としては全国有数の規模を誇っている。本学会の大きな特色は、教育学の他に、教科教育学、日本語教育学等の広範な分野を包摂する総合的な学会であること、若手研究者の研究発表の場として大きな貢献をしていることにある。

当学会は従来、事業の第一項に関わる会員相互の研究の促進については、研究推進活動として、学会大会でラウンドテーブルを開催しているが、会員相互の共同研究活動をより一層発展させるため、2014年度の理事会と総会で、新たな試みとして課題研究(2年間)を設けることが承認された。当学会が中国四国地方を中心とする地域に所在する教育に関する研究者から構成されているという特性に鑑み、地域の教育の課題を共同で研究し、あわせて若手研究者の育成を目指して「課題研究」を創設するものである。

## 助成の対象

1. 次のいずれかの研究課題に対する助成を行う。
  - (1) 地域の教育上の課題(教員養成、学校統廃合、学力、いじめ・不登校など)に関する研究
  - (2) 教育に関する独創的な研究
2. 複数の大学等の会員からなる共同研究であること。
3. 研究開始年度の4月1日において、研究代表者が次のいずれかに該当する若手研究者であること。
  - (1) 修士の学位取得後15年未満の研究者
  - (2) 39歳以下の研究者

## 助成期間

2025年度および2026年度の2年間とする。

## 助成金額

1件あたり1年間10万円(2年間で20万円)とする。

2025-26年度は2件程度の助成を行う。

## 助成金の支払いと使途

年1回、研究代表者を名義とする銀行口座に助成金を振り込む。

使途は、国内旅費、消耗品費を主とする。

## 報告

助成を受けた研究チームは、助成期間中、中国四国教育学会の学会大会において研究の成果を発表するものとする。

年度末には会計報告書（A4 用紙 1 枚程度）を事務局に提出するものとする。

## 応募の方法と選考

本募集要項と「課題研究」企画書は、当学会ホームページに公開する。応募に当たっては企画書の書式をダウンロードし、記入のうえ 2025 年 3 月 10 日までに学会事務局にメールにて送付すること。選考は選考委員会において行う。

選考結果は 2025 年 4 月中旬に申請者に通知するとともに、当学会ホームページに掲載する。

**問い合わせ先** ※企画書送付より 2 週間以内に返信がない場合、お問い合わせください。

〒739-8524

広島県東広島市鏡山 1 丁目 1-1

広島大学大学院人間社会科学研究科 教育学コース内

中国四国教育学会事務局

電話：082-424-6743

メールアドレス：cssse@hiroshima-u.ac.jp